

－4つの視点で描かれる、1つのバンドの物語－

ahamo による、“4 視点同時進行型”オリジナル連続 WEB ドラマ

『きいてください、最後の曲です』 2月17日(木)より配信開始

主演は、今注目の若手俳優・羽音さん・杏花さん・佐久本宝さん・兵頭功海さん！

エンディングテーマは、あたらよの新曲『差異』に決定！！

予告編映像 URL： <https://youtu.be/fiJVZQv1Wvs>

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）が展開するデジタルネイティブ世代にフィットした料金プラン「ahamo」は、「音楽は、ぜんぶをつなぐ。」をスローガンにした『ahamo music challenge』の第2弾として、4つの視点で描かれる多視点青春ドラマ『きいてください、最後の曲です connected by ahamo（以下、きいてください、最後の曲です）』を制作。2月17日(木)より、毎週木曜20時に ahamo 公式 YouTube チャンネルで配信いたします。そして、ドラマ公開に先立ち、本日2月10日(木)より、予告編映像を公開いたします。



ahamoのオリジナル連続WEBドラマ『きいてください、最後の曲です』は、今年大注目の俳優・羽音さん、若手演技派俳優の杏花さん・佐久本宝さん・兵頭功海さんが演じる4人のバンドの物語です。高校時代からの仲良し4人組が22歳を迎え、それぞれが抱える事情や境遇からバンドへの思いが徐々にすれ違っていく。「音

楽が好き。バンドが好き。仲間が好き。だけど、このままじゃいけない気がしている。」バンド活動の中で様々な不安や葛藤、対立に直面しながら、彼らは果たしてどのような結末を迎えるのか。

本作品は4人全員が主人公で、「第1話 もう一度みんなで -美香篇-」「第1話 もう一度みんなで -乃亜篇-」「第1話 もう一度みんなで -伊藤篇-」「第1話 もう一度みんなで -桂木篇-」のように、1つの物語を4人それぞれの視点から追体験する各話4篇で構成される前代未聞の“4視点同時進行型ドラマ”です。それぞれの視点にフォーカスを当てることで、「仲間の前で見せる自分と本当の自分」の違いを浮き彫りにしながら、4人が一つの“ゴール”を目指す物語を描いていきます。

また、エンディングテーマには、悲しみをたべて育つバンド「あたらよ」が3月23日(水)にリリースする1stアルバム「極夜において月は語らず」に収録されている『差異』を採用。若者を中心に大ブレイク中のあたらよの新曲も合わせてお楽しみください。

多視点青春ドラマ『きいてください、最後の曲です』概要

あらすじ

4つの視点で描かれる、1つのバンドの物語。

主人公は、22歳の4人。
高校のクラスメイト同士で
文化祭に向けて結成したバンドを
卒業した後も続けていたが、
ここ2年は思うように活動できず、宙ぶらりんの状態だった。

会えない日々も増える中で、
すこしずつ、確実に、バンドへの思いがすれ違っていく。

就職、生活、夢、友情。
バンドを続けるべきか、やめるべきか、
それぞれの思いを抱えながら4人は集まる。

音楽が好き。バンドが好き。仲間が好き。
だけど、このままじゃいけない気がしている。

一つのゴールが決まる。
それは、はじまりかもしれないし、
おしまいなのかもしれない。



番組概要

- ・配信日：2022年2月17日(木)から毎週木曜20時に配信
※全5話。尚、第5話のみ配信開始時間に変更になる可能性があります。
- ・第1話配信スケジュール：2月17日(木)20時～ 下記の全4篇を同時配信
 - 「第1話 もう一度みんなで -美香篇-」
 - 「第1話 もう一度みんなで -乃亜篇-」
 - 「第1話 もう一度みんなで -伊藤篇-」
 - 「第1話 もう一度みんなで -桂木篇-」
- ・視聴方法：ahamo 公式 YouTube チャンネル
- ・予告編：<https://youtu.be/fiJVZQv1Wvs>
- ・出演者：羽音、杏花、佐久本宝、兵頭功海、岡部たかし、篠原篤、青山倫子、笠井日向、勝矢、岡田義徳
- ・特設サイト：<https://ahamo.com/special/music/drama/>
- ・公式 SNS：ドラマ関連情報や撮影中のオフショットなどを順次公開。
 - ahamo 公式 Twitter アカウント：https://twitter.com/ahamo_official
 - ahamo 公式 Instagram アカウント：https://www.instagram.com/ahamo_official/
 - ahamo 公式 LINE アカウント：<https://page.line.me/887fxbza>

本作品の見どころ

● 4つの視点が同時進行して1つの物語を紡ぎ出す、前代未聞の「4視点同時進行型ドラマ」

①4人全員主人公

本作品は「4つの視点で描かれる、1つのバンドの物語」をコンセプトにした多視点青春ドラマです。バンドメンバー4人全員が主人公であり、各話が4人それぞれの視点を描いた4篇から構成されています（各話4篇の全5話構成）。

②一人一人の視点を追体験するリアルライフドラマ

一つの物語を、「矢嶋美香が体験した物語」「小暮乃亜が体験した物語」「伊藤智也が体験した物語」「桂木正敏が体験した物語」とそれぞれの視点から追体験する物語に作り分けることで、それぞれの人物の「仲間で見せる姿と本当の姿」の違いを浮き彫りにします。まさに現実世界を生きる我々同様、物語の中を生きる4人の主人公の”複雑な事情や感情”を追体験できるリアルライフドラマです。

③4人の視点を重ねることで物語に深みを

通常のドラマ同様、どれか1つの視点だけ観てもお楽しみいただけますが、4つの視点を全て観ることで、1つの視点だけでは知ることができないそれぞれのキャラクターの深い感情や事情にまで触れることで、この物語に／登場人物たちにこれまで以上に感情移入してお楽しみいただけます。

● 主演の4人は、業界注目の超新星・演技派の若手俳優陣！

矢嶋 美香役：羽音さん



プロフィール

女優・モデル。2003年生まれ、岐阜県出身。

田中みかん「等身大の君」、C子あまね「鉄道橋」のMVに出演。第33回マイナビ東京ガールズコレクション2021 AUTUMN/WINTERに初出演。大手学習塾「河合塾」のイメージキャラクターに抜擢。

小暮 乃亜役：杏花さん



プロフィール

女優。1999年生まれ、東京出身。

2007年に読売テレビ『名探偵コナンドラマスペシャル第2弾「工藤新一の復活！黒の組織との対決！」』灰原哀役でデビュー。映画「瀬戸内海賊物語」で初主演。その他、映画「くちびるに歌を」、ドラマ「I's (アイズ)」、めざましドラマ「めぐる。」などに出演。

伊藤 智也役：佐久本 宝さん



プロフィール

俳優。1998年生まれ、沖縄県出身。

2016年映画「怒り」(李相日監督)で応募総数1200人のオーディションを勝ち抜き大役に抜擢。同作で第40回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。

2020年度前期NHK連続テレビ小説「エール」で主要キャストを務める。

桂木 正敏役：兵頭 功海さん



プロフィール

俳優。1998 年生まれ、福岡県出身。

2018 年、GYAO と Amuse が共同実施したオーディション、第 1 回「NEW CINEMA PROJECT」の「出演者」部門でグランプリを受賞。「騎士竜戦隊リュウソウジャー」にカナロ役で出演し注目を集める。待機作の映画「消せない記憶」で主演。

●エンディングテーマは、あたらよの新曲『差異』に決定！

エンディングテーマ「差異」

エンディングテーマには、若者を中心に大ブレイク中の”悲しみをたべて育つバンド“「あたらよ」が3月23日(水)にリリースする1stアルバム「極夜において月は語らず」に収録されている『差異』に決定。ドラマで描かれる4人の様々な不安や葛藤、それらを乗り越えようと必死にもがく姿と、あたらよのエモーショナルな楽曲がシンクロします。

あたらよ

「悲しみをたべて育つバンド。」

東京を中心に活動中の4ピースバンド。

作詞・作曲・アートワークや映像もセルフプロデュースしている。

グループ名の「あたらよ」は”明けるのが惜しいほど美しい夜”という意味の可惜夜（あたらよ）から由来している。

2020年11月にYouTubeに楽曲を投稿し始め、活動を開始。

初のオリジナル曲「10月無口な君を忘れる」では、切なくエモーショナルな歌声と、

都会的な空気感、共感を呼ぶ切ない歌詞の世界観が話題となり、現在YouTubeでは3000万再生突破。

2021年3月にデジタルリリースを開始すると、瞬く間にLINE MUSIC・Spotify・TikTok・AWAでチャート首位を獲得。

活動開始から1年足らずでTHE FIRST TAKEに出演し、一気に音楽シーンで話題となった。



■1stアルバム 「極夜において月は語らず」

発売日：2022年3月23日(水)発売

商品形態：全2形態

初回版はDisc2にアコースティック ver.(CD)を加えた2ディスク仕様

多視点青春ドラマ『きいてください、最後の曲です』予告編

乃亜が差し出すスマートフォンの画面から始まる本編の予告編映像。そこには、プロアマの垣根を超えた対バン形式の音楽フェス『VOICE OF EMOTIONS』の参加応募画面が映し出され、「うちのバンド、これに賭けてみない？」と乃亜が発言。驚いた表情を見せる美香、伊藤、桂木の顔が映し出され、「それは、はじまりかもしれないし、おしまいなのかもしれない。」とこれからのストーリーを予感させるメッセージが・・・。

・ 予告編 URL : <https://youtu.be/fiJVZQv1Wvs>



主演 4 人の「撮影秘話」

・役作りのために SNS で深夜 3 時に電話

本作は、高校時代にバンドを組み、同じ時を過ごした 4 人が 5 年ぶりにバンドを再結成するというストーリー。共演する羽音さん、杏花さん、佐久本宝さん、兵頭功海さんは、作中のやり取りにリアルな旧友らしさを表現するため、プライベートでも積極的にコミュニケーションをとっていました。ときには深夜 3 時に 4 人で電話をつなぎ、なにげない会話をしたり、朝には「おはよう！」と SNS で送り合うなど“5 年来の付き合い”を意識した役作りをおこないました。

・作品のために本当にバンドを結成し、猛練習

さらに、作中では主人公 4 人でバンド演奏をするシーンが多く登場しますが、撮影当初の出演者 4 人はほぼ演奏経験のない楽器初心者でした。登場人物に入り込むため、音が合わさるときの嬉しさや、上手く演奏できないときの悔しさ、バンドとして演奏する楽しさなどを表現する“リアルなバンドマン”を演じるために撮影の合間を縫い、ときには個人で、ときにはみんなで集まって、本当のバンドのように楽器を練習してきました。

主演 4 人の「出演者インタビュー」

Q「きいてください。最後の曲です。」ドラマへの出演が決まってからの感想をお聞かせください。また、撮影までに準備してきたものがあるかどうかも教えてください。

杏花：私もピアノを弾いていたりするので、バンドに限らず音楽をやっている人は、やっぱり将来どうしようかなとか、このまま食べていけるかなとか、私たち世代の人なら絶対に通る道だと思うんですけど、そういうことを（私たちが）等身大に応援するっていうことはものすごい影響力があるんだろうなと思っています。私自身もこの企画から励まされたこともたくさんあるし、きっとこれを見てくださった人の心に何か届けばいいなってすごく思ったので、そんな作品に携わらせていただけるというのはすごく嬉しいと思いました。

羽音：私は今 18 歳なんですけど将来について、就職するかバンドを続けるかというところで（自分自身も）就職するか進学するかっていう迷いもあるので、そういう方たちにぜひ見ていただけたら嬉しいと思っています。

兵頭：出演が決まった時は、楽しそうだと思います。

杏花：夢だったって言ってたよね。

兵頭：もともと、アコースティックギターを趣味でやっていて、いつか同業の仲良い子とかとバンドとかやりたいと言っていたので、こういうかたちで叶って・・・

なかなか僕はスケジュール的にみんなと集まれる機会がなくて、みんなで練習できる時間も正直今までは少ないんです。だから、LINE グループ作って・・・電話したよね（笑）？

杏花：「おはよう」って送り合ったりとか（笑）。

佐久本：深夜3時から電話したね。

一同：そうそう（笑）。

兵頭：深夜3時くらいから電話して、1時間30分くらい、何もなくて会話したこともありました。

話したいことは特にならないうけど、電話してつなげてるっていう感覚が、5年も仲良い友達ってそういうことするなあ。すごくリアルだなとその夜中の3時の電話で僕は思っていました。

——グループ通話をしようという話になったのはどなたがきっかけだったんですか？

杏花：一番最初の顔合わせの時に、「みんなで仲良くなりたいとしようがないから！」っていう話になり、監督が率先して「LINE 作ろう、LINE」ってみんなに声をかけてくれたんです。

佐久本：初めは監督が言ってくれたけど、（グループLINE に）監督入ってないからね。

入れてほしいような顔してたけどね（笑）。

Q 今回のドラマは4視点型のドラマということで、通常よりも分厚い台本だったかと思うんですけれども、それぞれ主役であるということで、何かドラマで注目してほしい点などお聞かせください。

兵頭：本当に純粋に台本が分厚いので、これは読みこまないと大変だなっていう気持ち。

僕は最初焦りというか、そこから入りました。

この台本には4人それぞれ主役の物語があるんですけど、その中にどの台本にも“共通してあるシーン”と、僕の台本にはないけど、（佐久本宝さん演じる）伊藤の台本にはあるシーンとがあるんです。

そういうところは、（結局は）どうやっても全部を読まないといけないんですよ。

だからこそみなさんにも、1話につき4つのドラマを全部見たうえで、最終話を見てほしいなって僕は思いました。

杏花：最初4人のそれぞれのエピソードを描いていくのかなって思ったら、（このドラマは）時間軸が同じなので、同じシーンでも、この時、この子はこういうこと考えていたんだっていうのを、全員分見たあとに知るんです。それがすごくぞわっとするなと思いました。

（だからこそ）私たちもすごく丁寧に演じなければならない。

撮影もそういう感じで撮ることにぜんぜん慣れていないので、これからどんな感じになるんだろうなっていう感じがすごく楽しみです。

——視聴者の方も、4話通して見ることで感じるものがあるって、また違ったかたちで楽しめますよね。

今回、ドラマに出演するにあたって、バンドの練習に多くの時間を割いていると思いますが、順調ですか？

佐久本：（すでに）「僕らのバンドはこうだね」っていう色があります。

桂木（兵頭）は練習あんまやってないからあれだけど（笑）

絶対うまくいくだろうなということをすごく感じるから、そこで言うと順調なんですけど、技術

力がねえ……。 (笑)

Q 今回の青春ドラマは、青春時代の葛藤ですとか、夢に向けた思いが描かれていますが、ご自身の経験で、「青春してるな〜」と思う瞬間があれば、教えてください。

兵頭：(羽音さんに向けて) 絶賛、青春してるよね？

羽音：今、現役で高校に通っているんですけど、いまこうやってみんなとバンドをできているのが青春だなんて練習の時に思いました。

佐久本：青春ないの？みんな〜

兵頭：俺、あるよ！

杏花：青春ねえ〜。遅れて青春やってきたって感じですかね、今。

佐久本：確かに、そうかもしれない。

杏花：そうですね。なんか思い出すっていうか、仲間とひとつの目標に向かって何かを頑張ったりとか、(その先に) 何もなくてもいいじゃんみたいな、そういう空気感がすごい心地いいなと思っていて、そういうものが青春だと思ったりしています (笑)。

兵頭：僕は高校まで野球をやっていたので、それは青春っていうきれいな言葉で表していいのかわからないくらい本当に大変だったんですけど、いま考えたら一つのことに向かってすごい一生懸命頑張ることっていいことだなんて、青春だなんて思います。



参考情報： ahamo music challenge とは

「ahamo」は、2月1日より、この春社会的に自立していく皆さま・夢に向かって新たな一歩を踏み出す皆さまを音楽を通じて応援すべく、「音楽は、ぜんぶをつなぐ」をスローガンにした『ahamo music challenge』を展開中です。第1弾プロジェクトは、3月17日(木)に渋谷 WWW X にて開催する、プロとアマの垣根を超えた対バン形式の音楽フェス『VOICE OF EMOTIONS connected by ahamo』。そして、第2弾プロジェクトが、4つの視点で描かれる多視点青春ドラマ『きいてください、最後の曲です connected by ahamo』で、2月17日(木)より毎週木曜 20時に ahamo 公式 YouTube チャンネルで配信してまいります。

- 『VOICE OF EMOTIONS connected by ahamo』： <https://ahamo.com/special/music/live/>
- 『きいてください、最後の曲です connected by ahamo』： <https://ahamo.com/special/music/drama/>



参考情報：ahamo とは

ahamo は、ニューノーマル時代を切り開いていくデジタルネイティブ世代にフィットした、月間データ容量 20GB を月額 2,970 円（税込）でご利用いただける料金プランです。

料金やサービス内容について、しっかり納得してご契約いただくことをめざした料金プランで、そうしたコンセプトに基づき、新規契約事務手数料や MNP 転出手数料、細かい割引の条件などを極力なくしたシンプルな料金プランといたしました。また、実店舗ではなく、オンラインで受付いたします。新規契約の手続きは専用の WEB サイトで受付いたします。契約後も、専用のアプリでデータ利用量や料金の確認、各種お手続きなどができます。また、操作やサービスについて不明なことがあれば、WEB サイトで簡単に調べることができ、チャットでのお問い合わせもサポートいたしますので、安心してご利用いただけます。

ahamo 公式サイト <https://ahamo.com/>